

講演会のご案内

— これからの治水利水のあり方を考える —

ダムは住民の命を守れるか！

日本で初めて流域治水条例を制定した
前滋賀県知事「嘉田 由紀子 氏」が語る！



近年の集中豪雨は降り方が大きく変化し、想定外の場所で想定外の降雨による被害が発生しています。

従来 of 河川上流域の山間地だけでない予測が難しい状況を示していることから、ダムの洪水調節効果が小さくなり、場合によってはダムが洪水発生源になりかねないことが明らかになっています。

今後は、洪水をダムや堤防などの施設で解決する事の限界を明らかにし、流域全体で水田や遊水機能も含め対策をしなければならないことを示しています。共に考えてみませんか。

と き 10月18日(日) 13時 ~ 16時30分

会 場 佐賀県神埼市中央公民館 Tel 0952-53-2325

JR神埼駅から360m

1部 基調講演 嘉田 由紀子 氏 (前滋賀県知事、びわこ成蹊スポーツ大学学長)

演題 「滋賀県流域治水条例はなぜ8年もかかったのか？」

～ ダムに頼らない治水政策の巨大な壁を考える ～

2部 シンポジウム

- ① 「城原川の龍について」(城原川を考える会 会長 佐藤 悦子 氏)
世界遺産の価値がある成富兵庫の流域治水方法に学ぼう
- ② 「無駄な石木ダムをなぜ建設するのか」(石木川まもり隊)
水漏れ改善と節水の徹底さらに人口減少でもダムは必要か？
- ③ 「立野ダム問題と川辺川ダム問題」
(立野ダムによらない自然と生活を守る会 事務局 緒方 紀郎 氏)
白川の穴あきダム(洪水対策)は危険だ

主 催 筑 後 川 水 問 題 研 究 会

城 原 川 を 考 え る 会

連絡先 0942-38-8050